



教育調査の結果について

統括副学園長 大矢 真由美

昨年11月に実施した教育調査の集計結果がまとまりましたのでお知らせいたします。Microsoft Formsを活用して2回目のアンケート回収率は、保護者83.5%（令和3年度73.3%）、児童・生徒88.8%（令和3年度85.3%）と、昨年度より増えました。ご協力いただき、ありがとうございました。今回は上位5問下位3問についてお知らせいたします。

設問内容	項目	肯定率	
		R4	R3
【児童・生徒】			
先生は、授業において電子黒板やデジタル教科書を活用している。	教材教具（ICT）	92.5	95.3
学園では、地震や火事など、様々な危険を予測し、避けるための知識や考え方について学んでいる。	防災教育	88.9	90.0
先生は、クラスのみんなが分かり合い、協力し合えるようにしてくれている。	学園生活全般	85.2	84.1
学園の授業によって、分かることやできることが増えている。	学習成果の実感	84.5	85.8
授業では、自分が必要な時に、必要な仲間と協力しながら学んでいる。	協働学習	81.7	77.8
授業中、自分の考えを自ら進んで発表している。	ひたむきに挑戦する	61.4	66.2
授業では、自分の得意なところを伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、個別に教えてくれている。	個に応じた指導	61.5	57.9
授業では、自分の興味に基づいて問いや課題を立てて学んでいる。	個別指導	63.0	61.3
【保護者】			
子どもの学園生活は、全体として満足できるものである。	学園生活全般	86.5	85.3
子どもは、学園での生活を通して、体力や食、生活習慣をはじめ健康な生活を送る力が育まれている。	体育・健康教育	79.5	83.1
学園は、ICT機器（電子黒板やデジタル教科書等）を活用した授業を行っている。	教材教具（ICT）	78.8	82.9
学園では、子どもが安心・安全な学校生活を送ることができる学級づくりを行っている。	学級経営	74.5	83.6
特色ある教育活動【キャリア教育（例：弟子入り体験・商品開発・職場体験等）、外國語・ICT等】は、学園や地域に特有の課題解決を通じて、子どもたちの成長によい効果をもたらしている。	特色ある教育	74.5	67.9
いじめや不登校などに対して、未然防止、早期発見、解決に向けて、教員が協力して取り組んでいる。	いじめや不登校対策	40.2	41.5
義務教育9年間を通した一貫性のある教育（小中一貫教育）は、子どもたちの成長や発達によい効果をもたらしている。	小中一貫教育	48.5	48.7
学園は、子どもたちの発達に関する課題など、特別支援教育の理解を深める情報を提供している。	研修・理解啓発	49.4	48.1
【A組児童・生徒】（回収率70.5% 令和3年度82.4%）			
学園の授業によって、分かることやできることが増えている。	学習成果の実感	87.1	85.7
先生は、授業で自分ができたことを讃めてくれたり、間違えたところを教えてくれたりしている。	学習評価	87.1	64.3
自分の周囲にいる人に対し、大切にしようという気持ちがある。	道徳教育	87.1	85.7
先生は、地域の人たちと協力しながら、授業や学園行事をよりよくしてくれている。	地域と共に在る学園	87.1	71.4
地震や火事が起きたときにどうしたらよいかについて、しっかりと学んでいる。	防災教育	83.9	78.6
授業中、自分の考えを自らすすんで発表している。Challenge-ひたむきに挑戦する-	ひたむきに挑戦する	54.8	78.6
授業では、やりたいことができている。	探究の学び	61.3	64.3
自分から先に挨拶している。Communicate-豊かにかかわる-	豊かにかかわる	61.3	71.4
【A組保護者】（回収率72.7% 令和3年度52.9%）			
学園では、子どもが安心・安全な学園生活を送ることができる学級づくりを行っている。	学級経営	90.6	85.4
子どもは、学園での生活を通して、健康な生活を送る力が育まれている。	体育・健康教育	90.6	82.9
子どもの学園生活は、全体として満足できるものである。	学園生活全般	84.4	85.4
子どもは、能力や特性に応じた目標の設定や手立てにより、自立と社会参加の可能性が広がっている。	学習成果の実感	84.4	70.7
学園は、家庭や地域と連携・協力して教育活動を行っている。	地域と共に在る学園	81.3	75.6
子どもは、地域や学園の同じ年くらいの子どもと交流したり、一緒に活動したりする機会がある。	交流及び協働生活	43.8	51.2
子どもの実態を踏まえ、義務教育9年間を通した一貫性のある教育（小中一貫教育）が進められている。	小中一貫教育	50.2	55.6
小学部と中学部、特別支援学級と通常学級との交流を精力的に進めている。Communicate-豊かにかかわる-	豊かにかかわる	50.0	55.6

結果より、学園の取組について、概ねご理解いただけていると捉えています。学園生活、学級経営等に多くの子どもたちが満足していることが分かり、嬉しく思います。一方で、コロナ禍でも学校公開や交流活動を工夫して少しずつ再開していますが、以前のような満足度をもたせていないこと、また、一人一人の学びの追究について、努力しがいのあることが分かりました。数値だけでなく、いただいたご意見も教職員と共有しながら、今後さらにご理解いただけるよう努力してまいります。

小学校部

生活目標
礼儀正しくしよう
安全目標
地震の10のポイントを確認しよう

中学部

生活目標
礼儀正しくしよう
安全目標
厳寒期の安全な生活を考えよう

小中共通

保健目標
うがい手洗いをしよう
給食目標
食事マナーを考えて食事をしよう

2月21日から、北西門取替工事のため通行できなくなります。（～3/15）東門をご利用ください。



日	曜	予定	日	曜	予定
		小学部			中学部
1	水	読書月間始	都立高校一般学力検査出願始 （～2/7）	15	水
2	木	新一年生保護者会（仲1年午前授業） 理科出前授業・6時間授業（3年）	都立高校推薦合格発表	16	木
3	金	遠足（仲） 折り紙教室（1年1.5組2年3.5組）	安全指導 校外学習（7年）	17	金
4	土	和泉手習い塾（通常教室・漢検体験8.9.10級） 名寄自然体験交流成果報告会		18	土
5	日			19	日
6	月	全校朝会（小中未来サミット）合同（専門）委員会 色覚検査（2年希望者）始		20	月
7	火	読み聞かせ（仲C.5.6年） 折り紙教室（1年仲.2組.2年仲.1組）	移動教室前内科検診（A組）	21	火
8	水	短縮時程 折り紙教室（1年3.4組.2年2.4組）	午前授業 Mなし 水曜放課後学習	22	水
9	木	学校保健委員会		23	木
10	金	たてわり班活動 色覚検査（2年希望者）終	作品展準備 東京都私立高校一般入試始	24	金
11	土	建国記念の日 和泉手習い塾		25	土
12	日			26	日
13	月	校内作品展始 東京都公立学校美術展覧会始 クラブ・クラブ見学（3年）	生徒朝会 連合移動教室（A組）	27	月
14	火	子どもを笑顔にするPJ（6年） 茶道体験（5年）	連合移動教室（A組）	28	火

道徳授業地区公開講座

1月21日（土）に道徳授業地区公開講座がありました。今年度は「『多様性—diversity—』を認め合うために」というテーマで、2時間目に各クラスの道徳の授業を見ていただき、3時間目は講師の先生をお招きし、保護者の方を対象にした講演会を行いました。道徳の授業は、子どもたちが考えるだけでなく、大人も一緒に考えることができるのが魅力の一つだと思います。この機会に、ご家庭でもお子様の考えを聞き、保護者の方の考えもお子様と共有する機会としていただければと思います。

学校支援本部コーナー

内川 周子

新しい春をめざして学園の時間も進んでいます。二年生はお世話になった六年生に感謝の気持ちを、一年生は新入生歓迎の気持ちを、色とりどりの折り紙に込めて飾り付けを作ります。

それに先だち2月に、折り紙の先生でもある元副学園長ツツ柳先生（令和3年度よりCS委員）をお迎えし、折り紙教室を行います。飾り付けのためのものと折り紙の楽しみのためのものをツツ柳先生が教えてくださり、サポーターが児童の手伝いをします。

一枚の四角い紙がモノに変身したり動いたり。モノづくりへの初々しい気持ちを共有できる授業のサポートを、私たちも楽しみにしています。

<https://shinsen-izumi.sakura.ne.jp/>
お問い合わせinfo@shinsen-izumi.sakura.ne.jp



学校運営協議会コーナー

CS会議は、原則公開で行っています。1月の会では保護者2名の方に傍聴いただき、ご感想を伺うことができました。傍聴ご希望の方は、副学園長までお申し出ください。お待ちしております。

学校運営協議会についての詳細は、こちらのQRコード（学園HP内）からご確認できます。



Microsoft Formsでのご連絡、 ありがとうございます

保護者の皆様におかれましては、Microsoft Formsを活用しての欠席等のご連絡、本当にありがとうございます。朝のお子様の欠席や健康状態等をいち早く知ることができ、大変助かっております。まだまだ風邪の流行る季節です。今後ともFormsのご活用をよろしくお願いいたします。